

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.316



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2011年11月2日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

日本共産党横浜市議団の提案で

エネルギー政策転換求める意見書提出

横浜市議会は10月28日、「原子力発電に依存するエネルギー政策の見直しを求める意見書」の提出を、全会一致で可決しました。

これは、日本共産党横浜市議団が提案したもので、党提案の意見書が可決されたのは、横浜市議会で初めてです。

意見書は、福島第一原発事故を

受け、世界各地で原発依存を見直す動きが起きていることを指摘。日本での自然エネルギーの活用は大きな可能性を持っていると述べています。その上で、政府に対して市民生活や経済活動の維持のための電力量の需要バランスを正確に捉え、省エネルギー社会の促進と再生可能エネルギーの普及拡大で、脱原発依存社会の実現に向け、エネルギー政策を転換するよう強く要望しています。

また、「放射性物質に関する安全基準の早期設定等を求める意見書」の提出も、全会一致で可決されました。



ブログ www.ohnuki-norio.jp/ 検索

「選択と集中」適切さ欠いた税金の使い方

2010年度一般会計・16件の特別会計に決算

横浜市議会第3回定例会は10月28日、2010年度一般会計決算などを賛成多数で承認し、閉会しました。日本共産党を代表して岩崎ひろし議員が、一般会計と16件の特別会計決算に対する反対討論を行いました。

2010年度は林文子市長にとって初めての年度予算です。岩崎議員はまず、「林市長は基本方針で市民のくらしや行政サービスの充実を目指すとはしましたが、港湾や高速道路などの大型公共事業に巨費を投入する姿勢は中田前市長と変わっていない」と批判しました。

横浜市は、企業立地促進条例に基づいて、立地企業への助成金や税の軽減に計23億5000万円を使いました。市経済局が立地企業49社を対象に行ったアンケート

では、横浜に立地した理由として、企業の72%が交通の利便性や子育て条件などの立地条件をあげ、行政の支援をあげたのはわずか10%でした。岩崎議員は、このことを指摘したうえで、「市税の使い方がミスマッチ状態である」と述べました。

その一方で、生徒一人当たりの教育予算が全国の政令市の中で最低レベルであることや、南本牧ふ頭の造成土地売却計画のずさんさを厳しく批判しました。

岩崎議員は、「決算全体は、（市長の掲げる）『選択と集中』の在り方が適切さを欠いていたといわざるを得ない」と主張。保育所待機児童解消への取り組みや市立学校教室へのエアコン設置、平和市長会議への加盟など市民要望に応えた林市長の施策は評価したうえで、市民の負託に応えた2012年度予算案の編成を強く要望しました。

←みなとみらい21地区には、日産自動車本社や富士ゼロックス研究所など進出し、企業立地促進条例で助成金・税軽減を受けています。



青葉区役所・土木事務所交渉

地域改善要望62項目に回答

今春、区民のみなさんから寄せられた62項目の地域要望をまとめ、日本共産党青葉区後援会とともに青葉区と土木事務所に提出しましたが、10月17日それに対する回答がありました。

「鴨志田川にかかっている橋が錆びてぐずぐずになっている。補修してほしい」との要求については、6月に補修を実施。

「藤が丘公園の樹林を少し減らして見晴らしを良くして。子どもたちだけで遊ばせるのは不安」については、現地を確認して9月に剪定を実施。

「環状4号線のしらとり台からさつきが丘周辺は、自転車が走る車道の左端がでこぼこで危険なので直して」という要求については、来年度、舗装修繕を実施するとしています。信号設置は青葉警察、



区役所総務課長・土木事務所副所長から改善要望回答の説明を受ける後援会メンバーと私（正面右から2人目）＝10月17日青葉区役所

青葉台駅からの深夜バスや終バスの時間延長などは東急バス株に伝えたとの回答です。

日本共産党青葉区委員会は、今年2度目の地域改善要望を11月中に行う予定です。ご近所で危険なところや直してほしいところがありましたら、党区員会まで具体的な場所と要望をFAXでお寄せ下さい（FAX 905-2566）。



谷本川でバードウォッチング

先月17日、青葉区役所まで谷本川沿いに歩いた。市ヶ尾高校横ではカモが尻尾を振り振りして、潜っては、見事に小魚を採っていた。青葉区消防署裏では、体長1m20～30cm位の大きな、目の周りが青いきれいなサギ？がじっと動かないで、一点を見つめているのを見つけた（写真）。

市民から海外視察に非難続々

親善と称しドイツでお遊びサッカー

自民11人・民主5人・公明1人・みんなの党1人、計18人の市議員が今月4日～19日、サッカーの親善試合などを盛り込んだ公費の海外視察にいきます。

当初、24人が視察に参加する予定になっていましたが、「放射能対策もあるのに、ドイツまで行ってサッカーしている場合か」「そんな金があるなら東日本大災害の被災地におくれ」などなど市民から批判され、やはり、やましいと考えたのか、様々な理由をつけて6人が辞退しました。

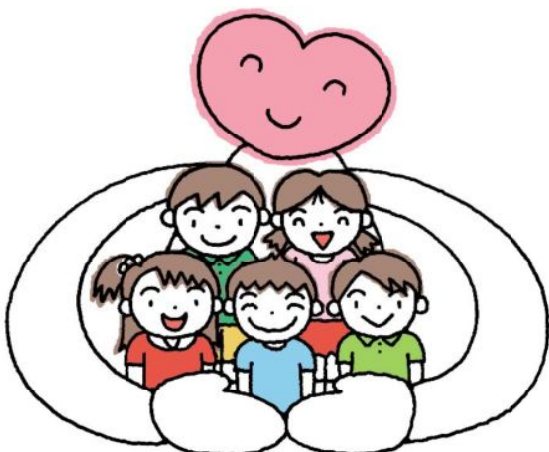
市民の批判にも関わらず残った18名は予定通り、なでしこジャパンが優勝ゲームをしたフランクフルトのサッカースタジアム・コメルツク・アリーナで、フランクフルト市議とサッカーをし、そのうち、南アフリカ・ヨハネスブ



フランクフルトのサッカースタジアム「コメルツク・アリーナ」(ウィキペディアより)

ルグ、ブラジル・リオデジャネイロ、トルコ・イスタンブール、スイス・ベルンの4コースに分れ、計10カ国を訪問します。費用は2000万円を超えるとされています。

フランクフルト市議とのサッカーは親善とされていますが、横浜市議会としては全くかわりなく、議会での決定もされていません。今回のメンバーらが勝手に計画したものです。青葉区からは横山正人、山下正人両議員が参加します。



ミジソコの独り言 日本人の人口が1920年の国勢調査開始以来初めて減り、1億2535万8854人に(2010年10月調査時点)。一方で、世界の人口は70億人を突破。今後、発展途上国でも高齢化が進み、世界的に深刻な状況になるという。食料、エネルギーなどの問題もある。私たちにいまできること、マジに考え、実行するときが来ているのかもしれない。(M)